

2022 年 2 月 27 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は 9 時より。11 時からは録画を視聴できます。

2月27日	聖日礼拝	前奏	招詞 詩篇 46 章 10 節
			「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」アーメン
会衆賛美	聖歌 4 9 7 (1, 5 節)	会衆賛美	イエスの血潮で (1 回)
主の祈り	詩篇 3 3 篇 16 ~ 22 節	交読	礼拝祈禱
使徒信条	マタイの福音書 24 章 36 ~ 44 節	聖書朗読	説教 再臨の主を待ち望む 荻野泰弘牧師
会衆賛美	聖歌 6 7 2 (1, 3 節)	献金	頌栄 聖歌 3 7 6
祝祷		報告	後奏 感謝祈禱

■聖歌 4 9 7 「輝く日を仰ぐとき」(1, 5 節)

①輝く日を仰ぐとき 月 星 ながむるとき

いかずち鳴り渡るとき まことの御神 (みかみ) を思う

※わがたま いざたたえよ 大いなる御神 (みかみ) を

わがたま いざたたえよ 大いなる御神 (みかみ) を

⑤まもなく主イエスは来^きたり われらを迎えたまわん

いかなる喜びの日ぞ いかなる栄えの日ぞ

■イエスの血潮で (★→※→★の順序で歌う)

★イエスの血潮で 救われ 癒 (いや) され 天の御国へと 導かれる

イエスの血潮で 赦され 満たされ 尊い その血潮で

※天の父と こひつじイエス ひざまずき歌う 聖なる御名

全地は歌う あがないの歌 栄光は主にあれ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 33 篇 16～22 節

- 16 王は 軍勢の大きさでは救われない。
勇者は 力の大きさでは救い出されない。
- 17 軍馬（ぐんば）も勝利の頼みにはならず
軍勢の大きさも救いにはならない。
- 18 見よ 主の目は主を恐れる者に注がれる。
主の恵みを待ち望む者に。
- 19 彼らのたましいを死から救い出し
飢饉（ききん）のときにも 彼らを生かし続けるために。
- 20 私たちのたましいは主を待ち望む。
主は私たちの助け 私たちの盾。
- 21 まことに 私たちの心は主を喜び
私たちは聖なる御名（みな）に抛り頼む。
- 22 主よ あなたの恵みが
私たちの上にありますように。
私たちがあなたを待ち望むときに。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 24章 36～44節

- 36 ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。
- 37 人の子の到来はノアの日と同じように実現するのです。
- 38 洪水前の日々にはノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていました。
- 39 洪水が来て、すべての人をさらってしまうまで、彼らには分かりませんでした。人の子の到来もそのように実現するのです。
- 40 そのとき、男が二人畑にいると一人は取られ、一人は残されます。
- 41 女が二人臼をひいていると一人は取られ、一人は残されます。
- 42 ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。
- 43 次のことは知っておきなさい。泥棒が夜の何時に来るかを知っていたら、家の主人は目を覚ましているでしょうし、自分の家に穴を開けられることはないでしょう。
- 44 ですから、あなたがたも用心していなさい。人の子は思いがけない時に来るのです。

■聖歌 672 「いつ主はきたりたもうや」(1, 3節)

- ①いつ主は きたりたもうや たれも知らねば
われらは 絶えず目覚め 守るべきなり

※心も 思いも 身も みなきよめられ
主の日を望むものは いと うるわしきかな

- ③御霊(みたま)を受けし者ら 心をあわせ
良き業(わざ)はげみあいて 主を待ち望まん

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・ 招詞 招詞を読みます
- ・ 賛美 歌います
- ・ 主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・ 交読 交読箇所を読みます
- ・ 礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・ 使徒信条 使徒信条を告白します
- ・ 聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・ 説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・ 賛美 歌います
- ・ 献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・ 頌栄 頌栄をささげます
- ・ 祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」